

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第3回駅周辺まちづくり部会 議事要旨

[日 時]

令和5年6月23日（金） 18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬2階 会議室

[出席者]

部会長 杉崎（学識経験者）

委員 山本（学識経験者）、関口（商店会）、内田（商店会）、野島（町会）

河原田（学校）、渡邊（学校）、須藤（区民）、前田（区民）

オブザーバー 荻原（専門調査員）

[事務局]

美術館再整備まちづくり担当課 竹内、松本、中山、納谷

美術館再整備担当課 稲永、越智

株式会社ユーマック(コンサルタント) 北山、中原

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会

2. 議題

中村橋駅周辺のまちづくりについてのディスカッション

3. その他

[配布資料]

- ・資料1 中村橋駅周辺のまちづくりについてのディスカッション
- ・資料2 中村橋駅周辺の計画事業など
- ・資料3 地域概況図

1. 開会

- ・事務局から本日部会の進め方、資料1～3の説明を行った。

事務局	<ul style="list-style-type: none">・昨年度は皆さまから意見を聞く機会が少なかったと感じている。本日は中村橋のまちづくりについて考えていくにあたり、皆さんの意見を聞くため、ディスカッション形式で進めたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・本日の資料はディスカッションのため用意した。・資料1は、ディスカッションの趣旨を記載したもので、中村橋が「こんなまちになってほしい」「こんなところが課題だ」などについて自由にご意見をいただきたい。・資料2は、中村橋駅周辺は公共事業等によりまちが変化するため、そのターニングポイントを示したものである。令和9年度に美術館・図書館のリニューアル、令和19年度（仮）に補助133号線南側の整備、令和26年（仮）に補助133号線北側の整備について想定した。中杉通りの都から区への移管については、現在未定である。・資料3は中村橋駅周辺の現況図である。

2. 議題

中村橋駅周辺のまちづくりについてのディスカッション

- ・2つのグループに分かれ、それぞれ部会長、山本委員を進行役として、中村橋駅周辺のまちづくりについてのディスカッションを行った。
- ・約1時間のディスカッションの後、各グループで出された意見について進行役が発表を行い、委員間で情報共有を行った。

グループ①で出された意見

	<p>ウォーカブルなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none">・人にやさしく、歩行者に安全で、ゆっくり歩いて楽しめる “ウォーカブル” なまちにしたい。・回遊性のあるまちづくりをしたい。 <p>アートを感じるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none">・美術館がもっと身近に感じられ、アートを感じられるまちにしたい。来街者が、中村橋＝アートだと感じるまちにしたい。・練馬区立美術館が、東京都23区で一番有名な美術館になるよう、PRなどを行い、周辺での美術館への案内を充実させたい。・子どもや若い人たちにもっと美術館へ来てほしい。
--	--

もっと楽しいまちづくり

- ・暮らす人（子どもからお年寄り）、訪れる人にとって、今以上に楽しいまちにしたい。例えば、お酒を飲みながら映画を観るなど。
- ・まちに眠っている“宝物”を見つけ出したい。
- ・賑やかさ（商店街等）と静けさ（住宅等）が共存するまちにしたい。

中村橋を誇れるまちづくり

- ・住んでいる人が“中村橋人”であることを誇れるまちにしたい。
- ・中村橋の知名度を上げたい。
- ・交差点「中村橋駅」は、昔、中村橋という橋があったことに由来しており、そのような事を伝えていきたい。

買い物しやすい商店街づくり

- ・商店街のある中杉通りを更に発展させたい。
- ・買い物のしやすい商店街にしたい。なお、現在の商店街の状況は、昔の生鮮三品から、現在の飲食店主体に移り変わってきている。
- ・商店街の売上アップにつながるよう、中村橋駅から商店街への人の流れを誘導したい。
- ・商店街の歩行者空間を広くし、車の通行は少なくしたい。できれば大型車両の進入は抑止したい。

中村橋駅「美術館口」の提案

- ・現在の美術館は、存在感が薄いと感じる。中村橋駅から美術館へのアクセス改善として、中村橋駅に「美術館口」を設けてほしい。例えば、駅から美術館へ真っ直ぐ行ける駅南側のドトールの部分に改札口を設けるなど。
- ・一方、真っ直ぐに行かず、現在の改札口から回るルートで美術館へ行く人もいると思われる。今後、駅前のまちなみについて、どうしていくか検討を深めていきたい。

まちを楽しむ提案 キーワード“水”

- ・まちを楽しむキーワードとして“水”を提案する。
- ・一つは「銭湯」。美術館の近くには中村浴場、貫井浴場がある。例えば、美術館に行った後に銭湯に寄ったり、美術館と銭湯をゆっくり歩いて行き来したりするなど。銭湯の富士山のタイル画と、新美術館で表現する富士塚がマッチする。
- ・もう一つは、まちの中にある「暗渠」。例えば、跡地を見て歩く暗渠めぐりツアーなど。暗渠を魅力的なテーマとして取り上げることで、美術館との新たな取組が考えられそうである。

補助 133 号線開通による交通量の変化

- ・歩きやすいまちにしていくためには、補助 133 号線の開通が大事な視点であ

	<p>る。当該道路ができることで、人の流れ、車の流れが大きく変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助 133 号線の開通によってバスルートが変更されると、人の流れも変わると思われる。 <p>中杉通りの交通についての提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中杉通りは、一方通行により一定の交通抑制を行ってはいるが、道幅が狭く、自動車、バイクや歩行者が混み合い、ごちゃごちゃしていて安心できない。 ・車両を通行止めにすれば安心して歩けるが、商店街の各店舗に荷卸しするための業者の車がアクセスできないのは困る。提案として例えば、タイムシェアによる通行制限を設けるなど（既に歩行者専用時間帯の設定あり）。 <p>バス停、タクシープールについての提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、既存のバスルートは、商店街と住宅地の中を通っており、駅から離れている。また、バス停やタクシーの乗り場がわかりにくい状況である。 ・補助 133 号線が開通した場合、当該道路がバスルートになることが想定され、例えば、補助 133 号線用地買収で出る残地や、駐車場等の未利用地を活用した、バスの転回スペースやタクシープールなどの整備が考えられる。 ・今後、バスの転回スペースやタクシープールなどの検討をする上で、練馬区が主体となって関係機関と調整や検討を進めるためにも、策定予定の「駅周辺まちづくり構想」に位置付けてほしい。 ・なお検討を行う上では、既存のバスルートやバス停は、現在の住宅市街地にとって生活上必要な交通機能であることに留意する。 <p>補助 133 号線の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助 133 号線は約 70 年前の道路計画であり、70 年経過した住宅市街地に当該道路を通す上では、十分に配慮してほしい。 <p>練馬城址公園エリアとの関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村橋のエリアと練馬城址公園のエリアは、補助 133 号線の整備で繋がったとしても、地域性が異なるため一つのエリアとしてみなすのは難しい。
--	---

グループ②で出された意見

	<p>住みやすい楽しめるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村橋は住みやすいまちであり、普段から商店街などで楽しんでいる。 ・今後もまちの魅力を高めるため、積極的にまちづくりへ取り組みたい。 ・多世代みんなが楽しめるようなまちにしたい。中村橋を美術館や商店街が交流する人々が出会う場所にしたい。 ・まちあるきにて回遊できるようにすると、まちを楽しめる。
--	--

思い出に残るまちづくり

- ・子育ての視点から“思い出に残るまちづくり”を行いたい。中村橋での子ども時代に行った色々な体験が、思い出に残るようにしたい。
- ・美術館のリニューアルを中心に、色々な事が起きると思われる。他のまちではできない体験ができると思われる。

美術館リニューアルのチャンスを活かしたまちづくり

- ・まちづくりにおいて、美術館リニューアルのチャンスを活かしたい。新美術館が完成したときに、周辺のまちづくりにも注目してもらい、SNSなどで発信してもらえるようにしたい。

住民等が使いやすい美術館

- ・現在、美術館1階にある図書館は良く利用するが、美術館は敷居が高くなかなか行かない。新美術館は、住民等が入りやすく使いやすい美術館にしてほしい。

美術館リニューアルへの要望等について

- ・新しくリニューアルされる美術館に期待している。「美術館・図書館設計ワークショップ」へ応募したが、定員のため（抽選による50名）、参加できなかった。今後のワークショップは定員を増やしてほしい。
- ・交流や、生涯学習などができるスペースが欲しい。
- ・人とのつながり生まれるイベントなどの企画が考えられる。

中村橋周辺の歴史がわかる展示など

- ・中村橋周辺は、少し前までは畑が広がる市街地だったが、西武線高架化や補助133号線整備（目白通りから千川通りまでの区間）などにより、まちが大きく変化した。
- ・中村橋の歴史を知ることができる、仕掛けや展示など行う場所が欲しい。

商店街と美術館について

- ・商店街と美術館の関係について、現在の課題や改善する提案は以下の通り。
 - **美術館来館者の商店街への誘導**
 - ・美術館への来館者は、駅と美術館が近いことから、商店街などへ立ち寄りずに帰ってしまう。来館者を商店街へ導き入れたい。
 - **期待される新しい店舗・飲食店などの出店**
 - ・現在の商店街は後継者がいなく、昔に比べて店舗が減ってきている。一方、駅南側ではゆっくりできる新しいレストランができています。
 - ・商店街に新しいレストランなどの出店が増えれば、美術館の来館者が立ち寄ると思われる。
 - ・若い人の出店が増えてきており、若い人がまちづくりなどについて情報発信してくれることを期待したい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・中村橋の家賃は高いため、若い人にとって出店は負担である。 ○ 昼間に立ち寄りたくなる店舗等 <ul style="list-style-type: none"> ・夜は魅力的な飲食店などが開店しているが、昼間は立ち寄りたくなるような飲食店などが無い。昼間にくつろげるような魅力的なお店が欲しい。 ○ 子ども連れで入りやすい店舗等 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の商店街には、子ども連れで気軽に入れる店舗が少ない。新美術館ができれば、子ども連れの来館者も増えると思われ、近くに安心して入れるお店ができれば、トータルでまちを楽しむことができる。 ○ 商店街と美術館の入れ子のような関係 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街と美術館は、入れ子状態（ある物の内部に、別のある物が格納されている）のような関係にしたい。 ・例えば、商店街に美術館の作品的なものが置いてあったり、美術館に商店街の商品が置いてあったりなど。美術館等で現在、お店で開催している講座などを開くことも考えられる。 ○ 阿波踊りなど商店街のイベントについて <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が毎年 9 月に行っている阿波踊りなどのイベントを楽しみにしている。 ・中杉通りで行う阿波踊りは、昔は目白通りまで通して開催していたが、現在は途中までしか開催していない。中杉通りを区道へ移管するタイミングなどを活かして、再び目白通りまで伸ばしたい。 <p>補助 133 号線の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助 133 号線の交通量は多くなりそうで心配である。 ・補助 133 号線の開通により、現在、交通量の多い中杉通り（商店街）では、車、人の通行量が変わると思われる。 ○ 千川通り南側の補助 133 号線の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・千川通り南側の補助 133 号線については、完成すれば中杉通りのバスルートが補助 133 号線側へ変更され（想定）、中杉通りの交通量が減り、良いと思う。 ・一方、補助 133 号線は住宅市街地を通るため、道路整備のための工事用トラックから歩行者の安全性を確保することが大事である。完成後はまちが分断されるため、通学時の道路横断がどうなるかなど不安である。 ○ 目白通り北側の補助 133 号線の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・目白通り北側の補助 133 号線が開通すれば、北側エリアから中村橋へ集客するチャンスである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループから貴重なご意見をいただいた。それぞれの特徴が出た、良いディスカッションが出来たと思う。事務局から各グループの意見を受けた感想についてお伝えする。

	<p>グループ①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“ウォーカブルなまちづくり”については、区も同様の視点でまちづくりを進めていきたいと考えている。 ・まちなかにある銭湯、暗渠などを活かした取組については、今まで気が付かなかった視点である。区の担当も知らない部分があり、地元の皆さんから教えていただくことはたくさんあると思っている。まちづくりに活かせる部分について、今後考えていきたい。 ・バスの転回スペースやタクシールールなどの検討については、「駅周辺まちづくり構想」に位置づけてほしいというご意見をいただいた。今後検討していきたい。 ・本日のディスカッションは、皆さんから夢や具体的なアイデアなどを語っていただいた。区としても夢などを語りつつその中から実現可能な部分を整理し、短期間で実施する部分と長期間かかる部分など整理をしながら、検討を進めていきたい。 <p>グループ②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村橋に住んでいる方からは“住みやすいまちづくり”、“思い出に残るまちづくり”といったご意見をいただいた。将来に向けて、住んでいて良かったと思えるようなまちづくりは、キーポイントになると考えている。 ・美術館がリニューアルされると来街者が増えると思われ、それについて住まわれている人々がどう感じるのかは、区がまちづくりを進める上で大事な留意点だと考える。 ・美術館が駅から近い現状は、美術館へのアクセス性といった点では便利でメリットであるが、来館者が中村橋へ寄り道などせず直ぐに帰ってしまうなど商店街にとってはデメリットとも思われる点もある。来館者がまちなかを巡るような仕組みについて、今後検討を深め、具現化していきたいと考えている。 ・補助 133 号線が開通すると、沿道に商業施設などが出来て、まちの様子が変わると思われる。道路整備における工事や通学に対する不安などについては、地域の皆さまとお話をしながら進めていきたい。
--	--

3. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日ディスカッションで頂いた皆さまのご意見をふまえて、駅周辺まちづくり構想（令和7年度以降策定予定）の検討を進めていきたい。 ・次回は、8月に第3回美術のまち部会を開催予定である。
-----	--

以上